

11月度月例句会 会報・HP掲載句

十一月詠草

兼題：茶の花、切干、当季雑詠

茶の花や亭主居留守を楽しめり	中山 知祐
茶の花のイヤリング如つぼみ揺れ	清家 静楓
茶の花やぼとりと落ちて夕日浴び	生江沢五風
茶の花や鎌倉大仏雨濡れて	小野 信
茶の花を見たこともない都会の子	川田 勝美
切干の庭の主役やちいりちり	佐藤 政百
切干の日向の匂ひ袋切る	石原 克己
切干や日向分け合ふ峡の村	六川 里風
切干をはりはり噛みて独り酒	安井 正浩
人の名をまた問ふ妻とみて小春	宮川 至剛
白髪の本チ腰掛く枯野かな	大仲 正敏
湯の河原苔鮮やかに照る紅葉	森 邦彦
この秋は動画が届く誕生日	城戸崎雅崇
虫鳴くやいや耳鳴りか我可笑し	眞田 宗興

以上